

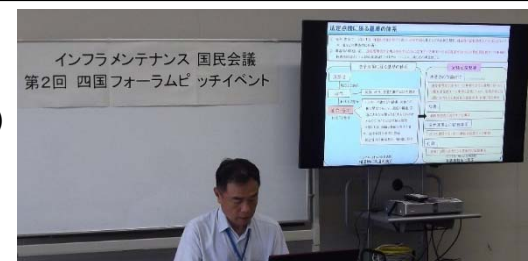
インフラメンテナンス国民会議 第2回四国ピッチイベント(令和2年8月25日開催)

【開催概要】

- 日時：令和2年8月25日（火）13:00～15:00
- 場所：web会議形式
- 出席者：約160名
(行政) 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
地方公共団体及び四国地方整備局
(大学) 愛媛大学 矢田部特命教授、吉井教授
(民間企業他) 四国内のコンサルタント、建設業企業等

【主な議事】

- 最新の情報提供（四国地方整備局）
- 事例報告（四国建設コンサルタント(株)）
- ピッチイベント（民間業者5社、
四国地方整備局）
 - ・「路面性状を簡易に把握可能な技術」
 - ・「橋梁の塗替えの効率化」に関する最新の技術やノウハウ・シーズ技術を紹介



開会挨拶

矢田部 龍一 氏
(愛媛大学 特命教授)

- コロナ禍の中で新しい形での開催（web会議方式）
- 学究の場・意見交換の場・新しい技術発信の場となる。
- 日本国民の財産であるインフラを守っていく役割を
しっかり果たすフォーラムとなることを期待します。

最新の情報提供

演題：「点検支援技術 性能カタログ(案)」について

- 受発注者が定期点検で新技術活用を検討する際に、参考となる性能
カタログの概要を説明するとともに、今年6月、大幅増(16→80)
となった掲載技術について例を使って紹介
- 石原 弘之 氏 (四国地方整備局)

事例報告

演題：道路トンネルの定期点検における点検支援技術の活用
について

- 道路性状測定車両イーグルを使用したトンネル点検事例
について紹介
- 重永 雄大 氏 (四国建設コンサルタント(株))



閉会挨拶

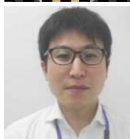
吉井 稔雄氏
(愛媛大学 教授)

- インフラメンテナンスは、1. 点検技術の高度化、
2. 新しい技術を活用した点検方法の開発、3. 適切
なライフサイクルマネジメントの実施、という3点
セットでの技術開発が必要です。
- 日本のインフラが良好な状態で維持されるよう、技術
開発や既存技術の実用化が進むことを期待している。

ピッチイベント(自社製品やサービスの紹介外)



- ▶可搬型MMS（ペガサス2）の紹介
 - ▶路面性状調査や道路台帳付図作成への活用事例を紹介
- 鈴木 達朗 氏 (国際航業(株))



- ▶簡易路面調査技術の開発について紹介
- ▶ポットホール予防保全の事例を紹介

川西 弘一 氏 (西日本高速道路エンジニアリング四国(株))



- ▶「道路管理画像を用いた路面評価システム」の紹介
 - 道路管理画像ビューアー・簡易PMS（舗装マネジメント
システム）等
- 山田 泰成 氏 (西日本高速道路エンジニアリング中国(株))



- ▶路面性状測定車両メンキatcher-VPWの紹介
 - ▶新しい舗装点検技術（スマート路面点検）の紹介
 - ▶シナヤカファルト（長寿命化舗装用改質アスファルト）の紹介
- 松下 征司 氏 (ニチレキ(株))



- ▶「土木鋼構造用塗膜剥離剤技術」について、今後は、
現地の状況を踏まえ、技術を積極的に活用することに
ついて紹介
- 三好 健一 氏 (四国地方整備局)



- ▶剥離抑制型防食塗料「αシリーズ」について紹介
 - ライフサイクルコスト・製品ラインナップ 等
- 西森 修次 氏 ((株)四国総合研究所)